

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

京葉線快速廃止に怒りの声

バス路線は都市部でも減便・廃止

3月16日のダイ改で京葉線の通勤快速・快速の廃止が強行されました。

通勤快速は「生命維持装置」

ダイ改後、「家も買ったが、まさかなくなるとは思わなかった」「通勤快速があるから蘇我に引っ越してきた。1番の目的がなくなった」「7時の通勤快速をなくし、10分後に新設したのが特急。本当に腹立たしい」など、乗客の怒りの声が報道されています。

動労千葉にも怒りの声が寄せられました。
(左記に一部抜粋)

とくに内房・外房線から通勤している人に

寄せられた怒りの声 (一部抜粋)

- ユーザーとして酷すぎるとしか言い様がありません。現場でも痛感させられていると存じます
- 通勤時間帯がオール普通列車になった上に混雑が酷くなりサービスは低下
- 特急誘導かと思いきや、特急も減車により混雑は悪化
- 特急は全車指定にも関わらず、自分の席に券を持っていない乗客が先に着座されており、以前からの特急ユーザーから見ても酷い有り様
- 会社からの攻撃に屈することなく利用者および組合員の利益を守るために果敢に闘って欲しいです

とつては深刻な問題です。一宮町長は「都心へのアクセス時間はこの街に住もうという主要な理由」「生命維持装置を外されるようなもの」とまで語っています。

人手不足でバスも撤退・減便

「バスで代替」といわれることもありますが、実際には人手不足のために都市部でもバス路線の減便や廃止が続いています。

例えば千葉市では、小湊鐵道バス、平和交通、千葉中央バスなどで23年以降に大幅な減便や廃止が決定されました。

特に、千葉中央バスの都賀線・鎌取駅〜都賀駅間は平日35便から8便に、千葉中線・大椎台団地〜土岐駅間は平日32便から3便という大幅な減便です。

会社は地元住民・自治体の声も聞かず、まともに話し合うこともなく、一方的に快速廃止を打ち出しました。これは、職場で乗務員も鉄道業務をないがしろにするあり方と「同じ」です。地域の怒りとともに、融合化・ジョブローテーション撤廃の声を上げよう。